



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅
(コード番号 7746 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

南極 IceCube アップグレード計画における D-Egg 用ガラス耐圧容器の採用について

当社が製造したガラス耐圧容器が、千葉大学ハドロン宇宙国際研究センターをはじめとする国際共同研究「IceCube（アイスキューブ）実験」アップグレード計画において、光検出器「D-Egg」の主要構成部材として採用されました。

記

IceCube 実験は、南極点直下の氷床に設置された世界最大級のニュートリノ観測装置であり、14 か国 58 機関が参加する国際プロジェクトです。本アップグレードでは、600 台を超える新型高感度検出器が新たに設置されたことが本日前午 9 時に千葉大学から発表され、その約 4 割を占める D-Egg に当社製ガラス耐圧容器が使用されました。

D-Egg は、氷床下最大約 2,600 メートルの高圧環境下で長期間安定動作することが求められる最先端検出器であり、当社の高精度成型技術及び耐圧・高信頼性ガラス技術が評価され採用に至りました。

本件は、当社の特殊ガラス技術が極地環境における最先端科学研究を支える重要部材として活用された事例であり、当社技術力の国際的評価を示すものです。

今後も当社は、宇宙・深海・極地などの極限環境用途に対応する高機能ガラス製品の開発を推進し、科学技術の発展に貢献してまいります。

なお、2026 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

《参考》千葉大学ニュースリリース

URL ; https://www.chiba-u.ac.jp/news/research-collab/post_634.html